

三重県、奈良県、和歌山県の林務担当者を対象に

「コンテナ苗植栽見学会」を開催しました

平成 29 年 3 月 6 日、和歌山県西牟婁郡すさみ町にある宮城川国有林において、「コンテナ苗植栽見学会」を開催しました。現地は今年度、伐採・植栽のいわゆる一貫作業システムを行っている所です。

各県の林務担当者のほか和歌山水源林整備事務所、和歌山県山林種苗協同組合、周辺の森林組合、低コスト造林技術研究会にも参加して頂き、総勢 76 名の参加者となりました。

この見学会は、コンテナ苗が民有林に普及していない中、県の林務担当者等に実際のコンテナ苗を見て、植え付けを体験してもらうために、三重森林管理署・奈良森林管理事務所・和歌山森林管理署の共催によるフォレスター支援活動として実施したものです。

現地の状況、コンテナ苗の特徴、植栽方法についての説明が行われ、普通苗とコンテナ苗の植え付けを職員が実演。その後、参加者は交代しながら植栽器（デュブル）を使って、スギのコンテナ苗 2 年生と 3 年生（150 cc）の植え付けを行いました。植栽器での植え込み深さを気にしながらも、普通苗の植え付けと比較しつつ、次々と植え付けていきました。

質疑応答では、普通苗とコンテナ苗の植え付け工期の違い、現地での仮植の必要性、植栽時期を選ばないのかなど、参加者からは熱心な質疑が寄せられました。

この見学会を通じて、コンテナ苗の普及 P R に少しでも繋がったのではないかと考えています。

なお、平成 29 年 5 月 25 日から 26 日には、3 県の林務担当者、森林組合等林業事業体等を対象に「低コスト造林の普及啓発に向けた現地検討会」を、同じ場所で開催する予定です。

説明状況



熱心な質疑が寄せられた



植付体験の様様



使用した苗木



(一番左は従来の裸苗)